

I am Jazz! (ジャズ・スーパー列伝)

ジャズの発展に貢献し、その歴史に名を刻んだ名プレイヤーたち。その人生は、楽器が異なる如く千差万別。このコーナーでは、そんな個性的なジャズマンたちの功績を称え、生き様を紹介することで、より多くの人々にジャズの素晴らしさを伝えていきたい。

Vol. 59

Nini Rosso 【ニニ・ロツソ】

～ “トランペットの詩人” イタリア出身の名トランペッター～



写真提供：JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント

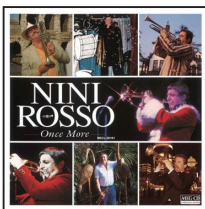
Profile

1926年9月19日、イタリア・トリノ出身。本名はRaffaele Celeste 'Nini' Rosso。トランペット奏者だった父親の影響で、幼少期よりトランペットに親しむ。18歳の頃には自分のバンドを結成し、ディキシーランド・ジャズ等をレパートリーに地元のクラブ等で演奏していた。両親の意向で大学に通うが、19歳の時に実家を離れて音楽家の道を選ぶ。後に働いていたクラブが営業停止となり一度実家に戻るが、直ぐに音楽家としてのキャリアを再開し、以降本格的にプロとして活動する。62年に「夕焼けのトランペット」でデビュー。同年イギリスでレコーディングされた「さすらいのマーチ」は、ケン・ソーン率いるオーケストラにカバーされ、映画『前進か死か』のテーマ曲として採用されたこともありヒットを記録。65年にリリースされた「夜空のトランペット」は、イタリア、ドイツ、オーストリア、スイスでチャート1位を獲得し、全世界で100万枚以上を売り上げた。その後の活動は母国イタリアだけでなく、ドイツ、ベルギー、オランダなどヨーロッパ各国へ広がり、トルコやインド等のアジア各国、そして、日本にもその人気は派生した。67年以降、幾度となく来日を果たし、施設を訪問したり、トランペット教室等も開いた。また、映画番組『水曜ロードショー』のテーマ曲「水曜日の夜」、ラジオ番組『ラジオ・チャリティ・ミュージックソン』のテーマ曲「夢のトランペット」も手掛ける等、日本人の琴線に触れる音色と楽曲と共に親しまれた。トランペット奏者、作曲家として活躍し、ジャズやイー・ジャズ・ビッグバンドのジャンルを中心にその哀愁ある音色と旋律で、日本をはじめ世界中で人気を博した。1994年10月5日、イタリア・ローマ市内の病院で腫瘍のため死去。享年68歳。

NR's Great Album

日本ではベスト盤やコンピレーション作品のリリースが多いが、大ヒット曲「夜空のトランペット」をはじめ、残された1曲1曲にニニ・ロソの心、哀愁が込められている。

ニニ・ロソの没後5年を
偲んでリリースされた追悼盤



ニニ・ロソ・ワンス・モア ニニ・ロソ

(JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント：VICP-60941)

ニニ・ロソ (tp)、他

ニニ・ロソが奏でる
日本の心々郷愁のメロディー集

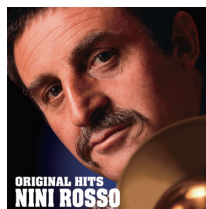


日本の詩情 < COLEZO! > ニニ・ロソ

(JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント：VICP-41283)

ニニ・ロソ (tp)、他

ニニ・ロソの没後20年記念
としてリリースされたアルバム



永遠のオリジナル・ヒット集 ニニ・ロソ

(JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント：VICP-65268)

ニニ・ロソ (tp)、他

1. 夢のトランペット 2. 夜空のトランペット 3. 夕焼けのトランペット 4. 水曜日の夜 5. スターダスト 6. ボラーレ (他、全17曲)

1. 北帰行 2. 北上夜曲 3. 城ヶ島の雨 4. 人を恋うる歌 5. 惜別の歌 6. 雪の降る街を 7. あざみの歌 8. 忘れな草をあなたに (他、全18曲)

1. 夜空のトランペット 2. 夕焼けのトランペット 3. さすらいのトランペット 4. さすらいのマーチ 5. 青春のトランペット (他、全23曲)

ニニ・ロソ没後5年記念に発表された追悼盤。1曲目の「夢のトランペット」は、1975年(昭和50年)から毎年クリスマスからクリスマスにかけて、ニッポン放送他、NRN系のAMラジオ局で24時間生放送されている『ラジオ・チャリティ・ミュージックソン』のテーマ曲として親しまれている。「愛の泉」「10円玉マーチ」「オー・ソレ・ミオ」「いつか、どこかで、なんとか、チャオ」等も秀逸。ニニ・ロソの魅力が詰まった作品。

ビクター・カタログ・シリーズ「COLEZO!」より、日本の詩情編として発売されたニニ・ロソのアルバム。「雪の降る街を」「忘れな草をあなたに」「竹田の子守歌」「知床旅情」等、郷愁を感じる日本の名曲18曲を収録。1967年以降、日本に度々来日し、日本を愛したニニ・ロソが、日本人々に捧げるべく心を込めて奏でている。黒澤明監督の映画『生きる』の劇中歌としても知られる「ゴンドラの唄」「遠くへ行きたい」も良い。

2014年当時、ニニ・ロソの没後20年記念にリリースされた。ニニ・ロソの男前なドアップ顔のジャケットもインパクト大。「夜空のトランペット」「夕焼けのトランペット」「さすらいのトランペット」等、ニニ・ロソのオリジナル・ヒット曲を含む23曲を収録。ラストの「水曜日の夜」は1972~1985年まで、日本テレビ系で毎週水曜日21:00から放送されていた映画番組『水曜ロードショー』のテーマ曲として日本人に親しまれた名曲。

俳優ニニ・ロソ

1960年代には俳優としても活動していたニニ・ロソ。1961年制作のルイジ・コメンチーニ監督のイタリア映画「虎の背にまたがって (A Cavallo Della Tigre)」、1965年制作のマリオ・アマンドラ監督のイタリア映画「兵隊たちと伍長たち (Soldati E Caporali)」、1967年制作のフェルディナンド・バルディ監督のイタリア/スペイン映画「西部のリトルリタ (Little Rita Nel West)」等に出演している。「西部のリトルリタ」では、流しのトランペット奏者役で出演しているニニ・ロソ。彫りが深く、若い頃の顔つきは名優チャールズ・ブロンソンっぽくもある。

ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

1975年(昭和50年)から毎年12/24~12/25、ニッポン放送他、NRN系のAMラジオ局で24時間生放送されている『ラジオ・チャリティ・ミュージックソン』のテーマ曲「夢のトランペット」は、ニニ・ロソの名曲の1つ。元々ニニ・ロソの音楽をテーマにしたコンサートをメインにコンサート会場や放送を通じて募金を呼びかけ、集まった募金を寄付するという趣旨でスタートし、現在まで続いている。余談だが、ニニ・ロソは1972年の『第23回NHK紅白歌合戦』にも出演。「君恋し」を歌ったフランク永井のゲストとして、見事なトランペットを披露した。

Jazz Standards (ジャズ名曲列伝) Vol.32

~ Lullaby Of Birdland 【バードランドの子守唄】 ~

この曲は盲目のジャズ・ピアニスト、ジョージ・シアリングが1952年に作曲。1949年にNYブロードウェイの52丁目にオープンしたジャズ・クラブ「バードランド」にちなんで作曲され、後にジョージ・デヴィッド・ワイズによって歌詞が付けられた。サラ・ヴォーンやエラ・フィッツジェラルドをはじめ、数多くのアーティストに歌われ、スタンダード・ナンバーとして愛され続けている。小林桂、JUJU等、日本人アーティスト達にも取り上げられている。

★ この名曲が聴けるお薦めのアルバム

- クリス・コナー 『バードランドの子守唄』
- サラ・ヴォーン 『サラ・ヴォーン・ウィズ・クリフォード・ブラウン』
- エロール・ガーナー 『コンサート・バイ・ザ・シー』
- ダン・ニマー 『君は我がすべて』
- エイミー・ワインハウス 『アット・ザ・BBC ~スタンダード・エディション』